2020.12

商工会議所 とまこまい

The **TOMAKOMAI** Chamber of Commerce and Industry

Contents

ニュース ▶12/10要望書提出 P2
▶松本前副会頭叙勲伝達式 P2

特　集 ▶苫小牧商工会議所のコロナ対応 P4

写　真／エルム楽器　関連記事／ P8 会員さんこんにちは

苫小牧商工会議所 会員限定企画

とまチョップ マスク販売

※詳細は7頁及び同封のチラシをご確認ください。

2020 健康経営優良法人 Health and productivity

～新しい時代に向かってチャレンジ～
苫小牧商工会議所
The Tomakomai Chamber of Commerce and Industry

苫小牧運輸支局(仮称)の新設に関する要望書提出

東胆振経済団体懇談会は12月10日、北海道運輸局長に「北海道運輸局苫小牧運輸支局(仮称)の新設について」の要望書を提出した。

東胆振1市4町の経済界を代表して苫小牧商工会議所から宮本会頭、川端運輸交通部会長、冨田専務理事が出席し、要望書を加藤北海道運輸局長へ渡した。

この要望書は苫小牧市や東胆振圏の車両保有台数が年々増加するなか、市内への運輸支局の新設により、東胆振圏内事業者の車両検査や登録業務などの負担軽減とコスト削減を目的とするもの。陸運・海運行政の効率化にもつながる。

これまで苫小牧運輸支局(仮称)の新設については、室蘭運輸支局長に対して1992年より要望活動を実施してきたが、北海道運輸局に直接要望を行ったのは今回が初めて。

松本紘昌前副会頭の旭日双光章伝達式

苫小牧商工会議所前副会頭の松本紘昌氏(㈱松本鐵工所代表取締役会長)への旭日双光章(産業振興功労)伝達式を、11月28日にグランドホテルニュー王子にて開催した。松本前副会頭は妻の由美子さんと出席し、宮本知治会頭から勲記と勲章を受け取った。

伝達式は、今年度、国主催の叙勲受章者伝達式、苫小牧市の合同祝賀会が新型コロナウイルスの影響で見送られたため、苫小牧商工会議所が主催し実施。藤田博章名誉会頭や正副会頭らが出席し、長年の活躍を振り返りながら受章を祝った。

松本前副会頭は、1983年から現在まで苫小牧商工会議所議員を務め、87年からは常議員、2005年から19年までは副会頭職を歴任。地元経済界の振興発展に尽力した。特に人材育成の推進という観点から、近隣商工会議所との連携や産学交流推進など今日の会議所事業の道筋をつけた。

また、北海道機械工業会苫小牧支部長など業界団体の長も歴任し、モノづくり企業が集積する苫小牧地域において、業界の振興発展に尽力した。

道商連主催 道南・道央ブロック 職員研修会開催

12月3日、4日に(一社)北海道商工会議所連合会主催、「道南・道央ブロック職員研修会」が苫小牧で行われた。

近隣の商工会議所が連携のため、職員同士の関わりを深めることを目的に開催され、道南・道央地区の商工会議所の20～30代の若手職員15人が参加した。また、当日会場に来られない商工会議所については、オンラインで研修会に参加した。

研修1日目は、開催地である苫小牧商工会議所の末松事務局長が講師となり、苫小牧市の概要・特色、苫小牧商工会議所の取り組みや施策の説明を行った。また、外部講師によるビジネス文章の書き方講座やSDGs(持続可能な開発目標)カードゲームワークショップの講座などを受講。すぐに実務に生かせる内容をはじめ、カードゲームを通じてSDGsについて学ぶなど、幅広い内容の研修となった。1日目の研修会終了後は情報交換会を開催し、親睦を深めた。

研修2日目は白老町の民族共生象徴空間「ウポポイ」の視察を実施。2日間を通じて職員のスキルアップを図った。

建設業部会

ウポポイを視察

建設業部会（山口志郎部会長）は11月25日、白老町の民族共生象徴空間「ウポポイ」の視察見学会を行った。当日は、山口部会長をはじめ25人が参加した。

新型コロナウイルス感染症対策のため、懇親会を中止し、現地集合・現地解散で開催。昨年度は同施設の建設途中を視察していることから、満を持しての見学会となった。

先住民族であるアイヌの文化を紹介するために国によって建設された「ウポポイ」。参加者は豊かな自然に抱かれたポロト湖のほとりで、アイヌ文化の多彩な魅力に触れた。

博物館ではアイヌ民族伝統の展示品を鑑賞し、体験交流ホールではアイヌ古舞踊やムックリ（口笛）を鑑賞し、アイヌ文化を堪能した。

同一労働同一賃金 企業対策セミナー開催

苫小牧商工会議所は11月27日に「同一労働同一賃金セミナー」を開催、オンライン受講合わせて17人が参加した。同一労働同一賃金は2021年4月より中小企業で適用されるが、既に適用されている大企業では、正社員と契約・嘱託職員・パートとの待遇格差についてトラブルが増えており、同制度に対応した就業規則、賃金規定の改定が求められる。講師は賃金制度、労務トラブルをメインに活動を行う社会保険労務士の細田幸夫氏（ジャイロ総合コンサルティング㈱）が務めた。制度の概要や対象者の把握、実例での対応策や、同制度への対応策として、就業規則の作成方法や賃金規定の作成方法について説明が行われ、参加者は熱心に聞き入っていた。

第63回苫小牧地方珠算記録会 幼稚園児から社会人まで技能競う

第63回苫小牧地方珠算記録会（苫小牧商工会議所・㈳日本珠算連盟、日本珠算連盟苫小牧支部主催）が11月23日、苫小牧経済センターで開催された。

「苫小牧一」を目指して、市内並びに近郊の幼稚園児から社会人まで約120人が参加して毎年開催している大会。今年度は新型コロナウイルス感染症に考慮し、各地珠算教室の予選会で選抜された40人が日頃の練習の成果である技能を競った。

競技は「個人総合」、「読上暗算」、「読上算」の3部門で優勝を目指した。各部門の優勝者は以下の通り（敬称略）。

◇**個人総合競技優勝（そろばん苫小牧一）**／高橋諒多（社会人・珠道館）

◇**読上暗算優勝**／近惣祐輝（大学生・珠道館）

◇**読上算優勝**／佐藤瑞月（社会人・三上そろばん教室）

【部門別受賞】

◇**一般の部優勝**（日本珠算連盟苫小牧支部長賞）／高橋諒多（珠道館）

◇**高校の部優勝**（北海道商工会議所連合会会頭賞）／只野詩織（森谷そろばん教室）

◇**中学の部優勝**（苫小牧市長賞）／亀田和輝（立浪珠算教室）

◇**小学校高学年の部優勝**（苫小牧市議会議長賞）／加藤陽翔（立浪珠算教室）

◇**小学校低学年・幼年の部優勝**／稲葉文哉（小林珠算塾）

事業承継セミナー&個別相談会開催

11月18日、苫小牧経済センター6F大ホールで「事業承継セミナー&個別相談会」が開催された。講師は北海道事業引継ぎ支援センター総括責任者補佐の新宮隆太氏が務め、「After コロナを生き抜く、地域経済を守るM&A」と事業承継の現状・方法等を解説した。

実際にコロナ禍において事業承継を行い、ピンチをチャンスに変えた居酒屋を事例として紹介。長期休業の際に事業承継を行い、事業再開後は地元客も戻り業況は回復傾向になったという内容で、参加者は関心を持って聞き入っていた。

苫小牧中小企業相談所では本セミナー講師である新宮隆太氏と連携し、事業承継の相談を受け付けています。

ご相談は地域振興課
電話　33―5454まで。

北海道が定める警戒ステージ3・4への当所の対応について

道内で新型コロナウイルス感染症が拡大している中、11月7日に北海道が発出した警戒ステージ3を受け、警戒ステージ3・4に対する当所の対応「COVID-19（新型コロナウイルス感染症）に対する対応一覧」を定めました。

この「COVID-19（新型コロナウイルス感染症）に対する対応一覧」は、北海道が定める警戒ステージ3・4の中で、苫小牧商工会議所が事業を継続していくための対応策を示したものです。消毒や換気など事業継続のための基本的な行動を明らかにするとともに、会議の開催方法や条件設定などをお知らせすることで、会員の皆様と共通の認識を持って判断し、行動することを目的としています。会員の皆様におかれましては、このような困難な状況下にありましても、事業を継続する上で、これらの対応策が参考になりましたら幸いです。

当所としましては、今後も感染者発生等の状況変化や警戒ステージの推移を注視しながら、対応策に従って事業活動を進めて参ります。対応策につきましては、下記をご確認ください。

★対策のための前提条件「新北海道スタイル」を遵守する

北海道が定める警戒ステージ3・4への対応策

○:実施、参加　△:条件によって　×:不可

区分1		区分2	ステージ3		ステージ4	
			対応	条件	対応	条件
会議講演会セミナー研修会	当所主催	6階会議室	△	会議時間は60分以内で、40人以下とする	△	会議時間は60分以内で、40人以下とする
		3階特別会議室	△	会議時間は60分以内で、10人以下とする	△	会議時間は60分以内で、10人以下とする
		ホテル等の会議室	△	参加者は100人以下か収容人数50％以下の小さい方を上限。来賓、顧問、参与への案内を控える	△	参加者は100人以下か収容人数50％以下の小さい方を上限。来賓、顧問、参与への案内を控える
	他者主催	出席・参加	△	参加者100人以下か収容人数50％以下の小さい方を上限であることを相手方に確認し、可否を決定	△	**警戒ステージ4対象地域は不可とする。**他の地域はステージ3と同様の対応とする
		懇親会	×	警戒レベル3以上の場合は、原則不可とする	×	**警戒ステージ4対象地域は不可とする。**他の地域はステージ3と同様の対応とする
貸会議室			△	利用者は、利用にあたっての留意事項を遵守する	△	利用者は、利用にあたっての留意事項を遵守する
イベント等		当所主催	×	開催日の1か月前を基準日として、警戒ステージ3以上の場合は中止または延期とする。直近も同様とする	×	開催日の1か月前を基準日として、警戒ステージ3以上の場合は中止または延期とする。直近も同様とする
		他者主催	×	警戒レベル3以上の場合は、原則不可とする	×	**警戒ステージ4対象地域は不可とする。**他の地域はステージ3と同様の対応とする
事務局体制		相談業務	○	事前に相談者了解の上、相談時間は上限60分以内とする	○	事前に相談者了解の上、相談時間は上限60分以内とする
		消毒等	○	従来からの応接後の消毒作業などの対策を継続し、消毒液の在庫チェックと補充を実施	○	従来からの応接後の消毒作業などの対策を継続し、消毒液の在庫チェックと補充を実施
		積極的な換気	○	冬季間における室温を維持するため間接的な換気を実施し、室内換気を維持	○	冬季間における室温を維持するため間接的な換気を実施し、室内換気を維持
		湿度の維持	○	湿度の維持による効果が認められることから、加湿器等の増設による適切な湿度を維持	○	湿度の維持による効果が認められることから、加湿器等の増設による適切な湿度を維持
		社会的距離	○	限られた執務室で、必要な人的な距離と仕切り板による飛沫防止に努める	○	限られた執務室で、必要な人的な距離と仕切り板による飛沫防止に努める
来客・訪問		来客	○	間接的な換気を行い、来客者の到着前には事前に換気を実施する	○	間接的な換気を行い、来客者の到着前には事前に換気を実施する
		訪問先	○	不要不急の訪問を避け、滞在時間は60分以内とする	○	不要不急の訪問を避け、滞在時間は60分以内とする
職員の日常		外出等	○	事業継続のめ健康を維持し、大人数の宴席を避け、不要不急の移動を抑制する	○	事業継続のため健康を維持し、大人数の宴席を避け、不要不急の移動を抑制する
		体調	○	体調や体温の変化に気を配り、不調や変化がある場合は速やかに医療機関の診断を受ける	○	体調や体温の変化に気を配り、不調や変化がある場合は速やかに医療機関の診断を受ける

会議所職員研修

北海道を代表する港湾施設を学ぶ

12月2日、国土交通省北海道開発局室蘭開発建設部苫小牧港湾事務所で会議所職員向けの苫小牧港の研修を実施した。

苫小牧港湾事務所の矢野所長、松田計画課長から事務所内の「苫小牧港みなと歴史コーナー」の展示をもとに、苫小牧西港区、東港区の概要や、苫小牧西港造成までの過程、港誕生から工業港としての発展、東港の誕生や国際港への移り変わりといった港の役割の変遷について学び、苫小牧の発展に深く寄与してきたこと、北海道経済に非常に重要な港湾であることを改めて学んだ。

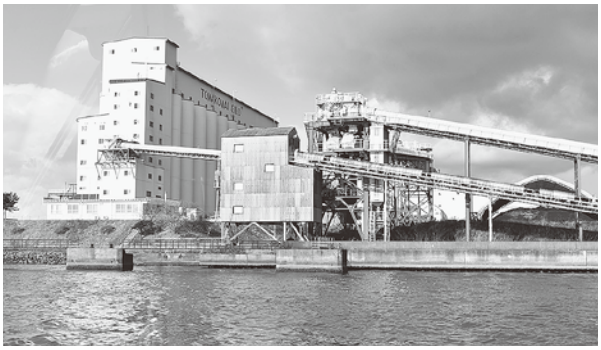
展示コーナーで学ぶ会議所職員

開港から60年近く経過し、施設の老朽化が進みメンテナンスを行いながらも、時代のニーズや状況に合わせた港湾形成を行っている。苫小牧港が現在抱えている課題「バース※不足による輸送効率の悪さ」の改善のために、2019年から西港区真古舞地区国際物流ターミナル整備事業として中央北ふ頭の未利用水面をバースに利用転換を図る工事が進められていることや、年々増加する農水産物の輸出促進を図る取り組みとして屋根付岸壁や民間企業による大型冷凍冷蔵倉庫の整備、荷役効率の向上のために岸壁の改良の整備を行ってきたことなど、最近の苫小牧港を取り巻く情勢について理解を深めた。

※バース：船舶が入港した際に着岸する場所

港湾業務艇「はやぶさ」で苫小牧港区内を巡覧

事務所で苫小牧港の概要説明を受けた後、港湾業務艇「はやぶさ」に乗船。西港区内を巡覧し実際の港の様子を船上から見学した。西港区内の各ふ頭の使用用途や荷役される資材や関連施設、各企業が保有する専用バースや、利用状況について詳しく解説を受けた。さらに、現在工事が進められている中央北ふ頭1号岸壁の整備の様子も海上から確認することが出来た。



石炭、穀物それぞれのベルトコンベア

工事が行われている中央北ふ頭

【研修を終えて】

苫小牧港湾事務所で苫小牧港の概要説明を受けた後に、業務艇で整備が進められている現場や課題を抱えている場所を実際に見学することで、より深く現状を理解ができた。全道港湾貨物量の約半数を扱い、まちの発展と共に大きく成長した苫小牧港。今回学んだことを会議所の事業・要望活動に活かし、地域経済の発展につなげていきたい。

苫小牧港湾事務所では一般企業、団体向けに苫小牧港の事業に係る説明を行っております。

問合せ　国土交通省北海道開発局室蘭開発建設部苫小牧港湾事務所
電話　33―9111

船内での説明

■2021年1月15日(金)まで　給付金申請の締切迫る!!

新型コロナウイルス感染症の影響で売り上げが減少した事業者を下支えするため創設された「持続化給付金」「家賃支援給付金」の申請締め切りが間近となっています。

申請の仕方や対象となるかどうかなど、お困りの方は商工会議所までお気軽にご相談ください。

担当:苫小牧商工会議所 地域振興課
電話:33-5454

★持続化給付金

今年の1月～12月までの間で、売上が前年同月比50%以上減少している事業者の方は、事業全般に広く使える給付金が申請できます。

給付額　前年の総売上(事業収入)－(前年同月比▲50%月の売上×12ヶ月)
中小企業、小規模事業者(法人)
上限200万円
フリーランスを含む個人事業者
上限100万円

申請期間　～2021年1月15日(金)まで

★家賃支援給付金

5月の緊急事態宣言の延長などにより、売上の減少に直面する皆さまの事業の継続を支えるため、地代・家賃(賃料など)の負担を軽減する給付金を給付します。

給付額　申請日の直前1か月以内に支払った賃料などをもとに算定された金額が、給付されます。
法人　最大600万円、
個人事業者　最大300万円

申請期間　～2021年1月15日(金)まで

※一度給付を受けた方は、再度給付申請することができません。

無料　経営の悩み、専門家に相談を！ 2021年1月開催の「専門相談室」ご案内

事業経営に必要な専門的アドバイスは、商工会議所・中小企業相談所の専門相談員にご相談ください。事前予約が必要な場合がございますのでまずはご連絡ください。

法律相談	登記相談	労務相談	税務相談
岡田秀樹　弁護士	上瀬戸拓也　司法書士	定蛇　萌　社会保険労務士	塩見俊博　税理士
2月を予定	随時受付中!	2月を予定	常駐　10:00～16:00

発明・特許相談	許認可申請相談	事業承継相談	経営相談
内藤拓郎　弁理士	山口美津男　行政書士	新宮隆太　中小企業診断士 北海道事業引継ぎ支援センターより派遣	岩佐秀明　中小企業診断士
1／14(木)9:45～11:45	随時受付中!(月・水・金)	随時受付中!	1／14(木)13:00～15:00

各種相談を希望される方 ▶ 苫小牧商工会議所にTEL(予約手続き) ▶ 当日予約時間にお越しください

予約・お問い合わせ
苫小牧商工会議所・地域振興課
TEL３３－５４５４

▷日本政策金融公庫中小企業事業部▷中小企業団体中央会▷北海道信用保証協会経営相談▷日本政策投資銀行
希望する方はお電話でお問い合わせください。 毎週水曜日10:00～12:00　第1・第2木曜日　10:00～16:00

※事業承継相談はご相談があれば地域振興課で受付

令和2年度
小規模事業所向け事業

専門家による個別サポート

人材不足や働き方改革への対応に悩む事業所を対象に、経営支援として、専門家による個別相談対応を無料で実施いたします。各専門家が、人材確保やIT活用方法、人事労務管理についてのお悩みに対応いたします。

相談無料・申込受付中

キャリアコンサルタント
人が集まる事業所の仕組みをご紹介します。

社会保険労務士
シンプルでわかりやすい人事労務管理についてご紹介します。

IT活用のプロ
個々の会社にあったIT活用による業務効率化を提案します。

経営者様を応援します。

▼問合せ・申込先▼
東胆振・日高・平取地域
通年雇用促進支援協議会
TEL:0144-34-5521

年末年始業務について

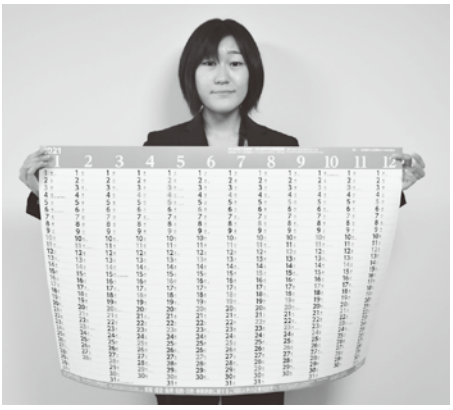
苫小牧商工会議所からのお知らせ

2020年12月29日(火)～2021年1月3日(日)は業務を休ませていただきます。

2021年 新年交礼会 中止のお知らせ

2021年1月6日に開催を予定しておりました2021年新年交礼会は、新型コロナウイルスの感染者が増加傾向にあり、感染症拡大防止の観点から安全面を考慮し、開催を中止することにいたしました。参加を予定されていたみなさまには大変ご迷惑をおかけしますが、なにとぞご理解をよろしくお願い申し上げます。

2021年版 カレンダー 配布中



2021年版カレンダーを2000部作成しました。

カレンダーはA全版で12か月のスケジュールを書き込める様式。業務予定等の管理に便利で、例年好評を得ております。

苫小牧商工会議所にて無料配布中です。数に限りがありますのでご希望の方はお早めにお受け取りください。

苫小牧商工会議所 会員限定企画 とまチョップマスク 販売について

苫小牧商工会議所では会員の皆様限定で、とまチョップマスクの販売を開始します。

プレゼントや従業員に配布、誘客販促への活用など使用用途は自由となっております。

カラーは、ホワイト・グレー・ネイビー・子供用(ホワイト)の4種類。

販売方法等の詳細につきましては、同封チラシをご確認ください。

問合せ　苫小牧商工会議所地域振興課
電話　33−5454

新入会員のご紹介

2020年11月入会の事業所を紹介します。(敬称略、会員番号順)

事業所名	代表者名	住　所	電話番号	事業内容
ワールドグリーン(株)	川田　保	沙流郡日高町富川北1−4−1	01456-7-8188	肥料の卸売、小売
苫小牧学習会	大久保克剛	有珠の沢町6−16−13	84-1085	学習塾、家庭教師
SERENO	渡辺　晴香			体操、新体操教室
麺屋　朱雀	住友　政吏	小糸井町1−5−28	84-6670	ラーメン屋
izakaya　草	佐藤　伸也	大町1−4−22−1F	35-8940	居酒屋
コマゴマエン	板谷　良久	新富町2−3−20	73-0550	加工食品製造販売
アトリエ　なちこ	村田　奈採	沼ノ端中央3−13−4−2		イラストレーター他
苫小牧北自(有)	佐々木　喜久子	入船町2−9−11	34-4520	運送取扱事業
おばんざいダイニング織々	平清水　明美	錦町2-4-19 2区総合福祉会館	84-1584	居酒屋
(株)大全運輸	大澤　幸雄	あけぼの町3−6−7	57-3456	一般貨物自動車運送業
(株)カーリサーチ	笹谷　正史	新開町3−17−10	52-1555	自動車販売、整備

苫小牧商工会議所ダイレクトメールサービス

毎月発行する会議所広報にチラシ、パンフレットを同封します。
約2,200の会員事業所に貴社の商品やサービスをPRしてみませんか?
例えば、A4版1枚を2,200枚郵送すると…
84円×2,200件＝184,800円
このサービスを使うと22,000円で済みます。

折込料金(1回・税込)

チラシ	B5・A4版	22,000円
	B4・A3版(2つ折)	33,000円
パンフレット(冊子等) 30gA4版まで		55,000円

ご利用に際しましては、一定の規約があります。詳細は苫小牧商工会議所総務部まで。☎33−5454

音楽の素晴らしさを多くの人に
音楽のことなら
エルム楽器

「㈱エルム楽器苫小牧支店」

住　　所：寿町2-3-11
電　　話：32-7248
代 表 者：支店長　佐藤　智
営業時間：店舗：10:00～18:00　事務所：9:15～18:00
※教室営業時間　9:15～21:00（土曜日は19:30まで）
定 休 日：店舗：日・祝　事務所：土日祝（不定休）
事業内容：楽器全般販売、音楽・英語教室経営、ピアノ調律・各種楽器の修理、音楽イベント企画運営
ホームページ：https://www.elm-t.co.jp/

店舗は楽器のほか楽譜を多数取り揃えている

グランドピアノ２台を置いている教室も完備

支店長の佐藤さん

ヤマハ英語教室

今回ご紹介する会員さんは、㈱エルム楽器苫小牧支店。支店長の佐藤智さんに話を伺った。㈱エルム楽器は1974年室蘭市で創業し、現在道内5拠点で楽器販売や修理をはじめ、音楽・英語教室の経営、音楽イベントやコンサートの企画・運営を行っている。苫小牧支店は2019年6月に開設し、開店1周年を迎えたばかりだ。

同店はヤマハの特約店として、ヤマハ製のすべての楽器の販売を手掛けているほか、管内3か所の教室で子どもや大人向けのヤマハ音楽教室、ヤマハ英語教室を運営している。音楽教室ではピアノやエレクトーンのレッスンをはじめ、声楽やボイスレッスンなどのコースのほか、ギター、ドラム、ウクレレ、サックス、クラリネット他、英語教室など、多種多彩なレッスンを受けることができる。

コロナ禍での変化

音楽教室に入会する子どもの多くが春先に集中する中で、今年はコロナの影響により例年と比較にならないほど入会が少なく、また、学校の休校などで教室に通えない生徒が多くいるなど厳しい運営を余儀なくされている。生徒の間隔の確保や換気・消毒はもとより、年少や幼児期のレッスンでは、歌の時間に間隔を十分に空けマスク越しに歌う対応を行い、大人の声楽のレッスンでは飛沫防止のスクリーンを設置し、管楽器などの吹く楽器のレッスンの際には楽器用のマスクを用いるなど、様々な対応を行いながら教室運営を行っており、イベントや発表会の機会も徐々に再開できているという。

保護者も子供たちも教室が再開して演奏したときには、とても嬉しそうな顔をして教室再開を喜んでいたとのことだ。子どもたちがこれからも音楽を楽しむことができるよう、練習の場や日頃の成果を発表する機会を守るため、日々奔走している。

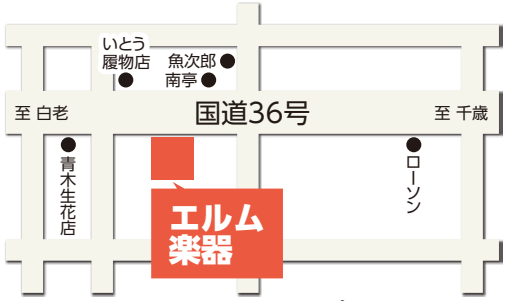
音楽を通した「子どもたち」と「地域」の成長

「心から音楽を楽しむ感受性、音楽によって養われる子供たちの成長に必要な能力、人格形成を大切にしている」といい、音楽を通して培われる努力する大切さ、自主性や協調性、向上心などの教育に力を入れているのも、エルム楽器の考えによるものであり、ヤマハ音楽振興会やエルム楽器独自の講師資格試験に合格したレベルの高い講師がそれを支えている。

「苫小牧はピアノをはじめ吹奏楽やマーチングバンドなど音楽文化が盛んな地域。地域にしっかりと根をおろし、子どもたちの成長と苫小牧の音楽文化を支えていきたい」と支店長の佐藤さんは話しを結んだ。

【取材を通じて感じたこと】

コロナ禍で家にいる時間が多くなり、昔習っていた楽器を再び始める方や、新たに楽器を始める人が徐々に増えてきているという。音楽レッスンに通う方は1歳から80歳までと様々。それぞれの目標やレベル・進捗状況に応じて、個別に講師が対応してくれるのもヤマハ音楽教室の魅力。気軽に様々な相談に乗ってくれる同店。新たな日常の過ごし方として、演奏する楽しさを味わってみるのもいいのではないでしょうか。



アクセスマップ

発行所　苫小牧商工会議所　苫小牧市表町1丁目1番13号　Tel 33-5454　Fax 32-6058

発行人・編集人　冨田　聡子
ホームページ　http://www.tomakomaicci.jp
E-mail　tcci@ains.tomakomai.or.jp
印　刷／とまみん印刷センター